

平成 28 年度 第 6 回長野市文化芸術振興審議会 会議録（概要）

日 時 平成 29 年 2 月 16 日（木） 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分まで

場 所 長野市役所第一庁舎 7 階 第 1 委員会室

出席者 委 員：金澤委員、齊藤委員、玉城委員、中村（礼）委員、松原委員、片桐委員、
鶴田委員、中村（柏）委員

長野市：事務局（文化スポーツ振興部文化芸術課）倉石部長、浅川課長、
鈴木補佐、久保係長、竹内主事

《資料》

資料 1 平成 29 年度 文化芸術振興事業予算（案）の概要

資料 2 長野市芸術館の市民利用の促進と子ども文化芸術活動の支援について

資料 3 第 1 回ながの獅子舞フェスティバル実施概要（案）

資料 4 第 1 回長野市子ども文化芸術賞 選考結果一覧表

平成 29 年度 長野市子ども文化芸術賞 推薦者一覧

平成 29 年度 子ども文化芸術賞 候補者一覧

平成 29 年度 長野市子ども文化芸術賞 募集要項

1 開会

2 部長挨拶

3 会長挨拶

4 議事

(1) 平成 29 年度 文化芸術振興事業予算（案）の概要について

（事務局）

〈資料 1～3 について説明〉

（委員）

子どもの文化芸術活動の支援といいながら、利用料が半額となっている。全額減免にはできないのか。

（事務局）

市民会館基本計画、実施計画の作成の中で市民の意見は大半が利用料の減免には慎重であった。管理運営については、計画に基づき運営することが前提であり、今後、館の利用状況、利用者の意見、財団の収支など状況を見て必要な見直しをしていくこととしている。そこで、開館から 1 年のタイミングで、割引について導入することとした。

（委員）

本来なら全額いただくところを前向きに半額としたということか。

(事務局)

市内外の他のホールと比べても芸術館は高く、他のホールや市のホールを参考として半額とした。

(委員)

運営している者として、芸術館は利用料金制をとっており、利用料金をいただく中で運営をしている。上田市は市の直営のため、運営形態の違いもある。これまで減免なしで運営してきたが、そうは言っても子どもは半額とするもの。ゼロにしてしまうと、経営に影響がでてしまうため、ある程度の収入を確保して運営をしていく必要もある。

(委員)

学生と書いてあるが、大学生の利用は割引対象にはならない。ホクト文化ホールは学生も対象になるのでお願いしたい。

(事務局)

減免をした分は結局、利用しない市民の負担となることから、管理基本計画、実施計画、設置条例をつくる際、原則として減免しないこととしたもので、限定的にすべきとの判断であった。しかしながら、これまで運営する中で、まずは高校生まで半額とした。大学生については、ホールによって取扱いが異なっている。将来的な課題とさせていたきたい。

(委員)

個人的な見解として、私の税金が子どもたちに使われることに問題ない。外から見たときに、松本、上田は子どもに対して理解があり、長野はそうではないと見えてしまう。本当に市民が子どもたちに税金を使うことに抵抗があるのか聞いて欲しい。

(事務局)

事務局とすると大きな一步を踏み出し、利用促進につながるもの思っている。松本、上田の収入が厳しい状況も聞いている。ご意見として今後の参考とさせていただきたい。

(委員)

ホクト文化ホールも元々は減免は無かったと思う。ある時期から利用が少なくなり、ただ空けておくのはもったいないので、受付開始からある期間経過したところで、半額としてきた。最近は減免が増えてきてある程度戻したらという意見もあるが、空いているなら利用してもらいたいという考えで減免をした。ただし、電気代、人件費もかかり、経営もあるので、全部タダで良いのかという考えもある。一定程度は負担してもらうのがよいのではないか。

(委員)

29年度、一步を踏み出したということで、その後の対応を検討してほしい。

獅子舞フェスティバルは、プログラムパンフレットを作成するのか。

(事務局)

A4見開き3ページの物を作る計画でいる。団体数が多いので掲載できる情報は限ら

れるが、団体名、活動地域、神楽の紹介は掲載したいと考えている。

(委員)

歴史として残せるよう、写真も入ると良いと思う。

(委員)

獅子舞フェスティバルの予算がこれで大丈夫なのか。

(事務局)

初めての事業でもあり、必要経費から漏れている部分もあるかもしれないが、予算の中で対応したい。今回の実績を見て、次回以降につなげていきたいと考えている。

(委員)

事故、怪我の無い様に対応してほしい。

(2) 平成 29 年度 長野市子ども文化芸術賞候補者の選定について

【非公開】

(3) その他

(事務局)

次回ですが、7月中旬から下旬ごろ、第二次文化芸術振興計画に基づく、28 年度事業報告と 29 年度事業計画について説明を予定している。

5 閉会